

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2017年 冬号 vol.16



▲専任の放射線治療スタッフが、一丸となって安心の治療をお届けします。

特集 放射線治療はやさしい治療です

がん診療コーナー 脳のがん

お知らせ 青島市市立医院視察団 ほか

もっと知りたい 検査部

地域の絆 クレスト整形外科

門脇歯科・形成外科医院

2017.2.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

特集



放射線治療は やさしい 治療です

～安心・安全・高精度の放射線治療～

放射線治療科 医長 有賀 美佐子

放射線治療は

やさしい治療

放射線というと、体に悪い、こわいものというイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、放射線は正しく使えば、侵襲が少なく、苦痛の少ないとてもやさしい治療になります。

もし担当の先生から放射線治療を勧められ、不安に感じたり、迷ったりされた場合は、お気軽に下関市立市民病院放射線治療科にご相談ください。放射線治療の説明や見学だけの受診も受け付けております。



下関市立市民病院

放射線治療科

安心・安全・高精度の放射線治療をお約束するとともに、こころの通い合う診療を目指しています。

放射線治療スタッフ（医師・看護師・診療放射線技師）は、いずれも放射線治療専任です。

医師、看護師、診療放射線技師とともに、女性スタッフによる診療を行い、女性患者さまでも安心して治療

を受けていただけるよう心がけています。

（注：診療放射線技師は、女性1名、男性3名のスタッフから2名ずつのローテーション勤務です。男性スタッフの担当となる日もあります。）

高度で正確な

放射線治療

当院では、2009年7月よりVarian社製放射線治療装置Clinac iX（図1）が導入され、高度で正確な放射線治療を実施しています。

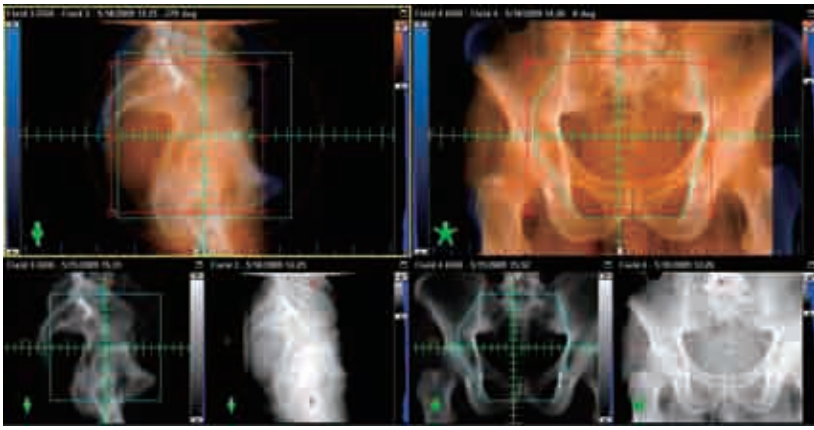


（図1） Varian 社製 Clinac iX

その一部をご紹介させていただきます。

● イメージガイド下 放射線治療 (IGRT)

On Board Imaging) を使ったイメージガイド下放射線治療 (IGRT) (図2) を行い、毎日、正確な放射線治療を実施しています。日々の標準治療においても、ミリ単位での照射位置の補正を行い、トップレベルの照射の正確さを誇っています。



(図2) イメージガイド下放射線治療 (IGRT)

● 定位放射線治療

定位放射線治療 (図3) とは、小さな病変を高度な照射技術を使ってピンポイントに放射線で狙い撃ちにする治療です。病変部には高い放射線量が照射でき、周囲の正常組織には少ない被曝量しかあたらない利点があります。

定位放射線治療中は、呼吸による臓器の移動に対応しながら照射できるように、患者さま一人ひとりに合った専用の体幹部固定具を製作し、胸部バンドやアブチェス、RPM (real-time positioning management system) などの呼吸同期システムを使用します。

放射線ビームは、*回転原体照射や、照射野の形を病変の形に合わせて変形させたビームを組み合わせたものを用い、多方向からの多門照射を行います。

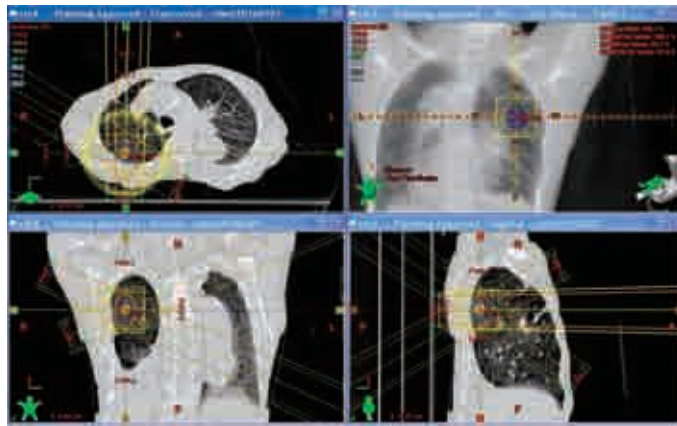
(※回転角度3度ごとに、病変の形に合わせて変形させたビームを身体のまわりを回しながら照射する方法)

注射でできる

放射線治療

2012年より、注射でできる放

射線治療、ストロンチウム-89内療法も導入されています。
適応疾患は、骨シンチグラム検査で描出され、痛みのある転移に限られますが、1回の静脈注射のみで治療が終了し、日帰り治療が可能です。



(図3) 定位放射線治療

ピンポイントに狙い撃ち？
すごいなあ。



● 平成28年 放射線治療実績 ●

| | | | |
|------------|-----|------------|-----|
| 肺癌・気管・縦隔 | 38例 | 泌尿器・男性性器 | 15例 |
| 乳房・胸壁 | 30例 | 食道 | 10例 |
| 脳・脊髄 | 25例 | 造血器・リンパ系腫瘍 | 7例 |
| 皮膚・骨・軟部腫瘍 | 21例 | 肝・胆・膵 | 4例 |
| 胃・小腸・結腸・直腸 | 16例 | | |
| 頭頸部 | 15例 | ※うち定位放射線治療 | 6例 |

平成28年の
部位別照射総数は
181例



脳のがん

脳組織から発生する悪性腫瘍は“癌”とは呼ばれません。

上皮性細胞由来の悪性腫瘍が癌であり頭蓋内には上皮性細胞由来の細胞がないからです。頭蓋内腫瘍は原発性脳腫瘍と転移性脳腫瘍に分類されます。原発性脳腫瘍は頭蓋内の細胞から発生した腫瘍であり、転移性脳腫瘍は肺癌や乳癌など他部位の腫瘍細胞が血流によって運ばれ、脳に生着したものです。代表的な原発性脳腫瘍には膠腫、髄膜腫、下垂体腫瘍、神経鞘腫などがあります。正確な診断のために摘出標本による診断が必要となります。治療は手術による摘出後に必要であれば放射線および化学療法を行います。いずれも良性、悪性が存在します。

悪性で多いのが膠腫と呼ばれる神経支持組織から発生したもので、代表的なものが膠芽腫です。“脳のがん”というイメージはこの膠芽腫に当てはまると思われます。腫瘍が正常脳組織内のあちこちに浸潤し境界がはっきりしません。そのため全摘出が困難で再発することが多く術後の追加治療が必要となります。神経支持組織には星細胞と乏突起細胞の2種類があり、遺伝子変異の検索により発生母地の特定が行われます。

当科では標本の解析を九州大学医学部脳神経外科にお願いしています。それに従って、放射線治療、化学療法を追加します。放射線治療は、膠腫であれば拡大局所照射となります。化学療法は現在テモゾロミドと呼ばれる経口薬が主流です。放

射線治療終了後は外来での通院治療が可能となり、自宅で有意義な時間を過ごせるようになりました。またこの時間の延長に寄与する血管内皮細胞増殖因子に対する抗体であるアバスチンを投与することもあります。以前に比べると膠芽腫の治療成績も向上していますが長期予後はまだあまりよくありません。5年生存率が10%以下というのが現状です。

これからも治療成績の向上に努めていきたいと思えます。

＜脳神経外科 部長 なかむら たかはる 中村 隆治＞



事務部

【連載エッセイ】

経営のプロを目指して

地方独立行政法人になって何が変わったの？

皆さんどのように感じていますか？名前が変わった。中央病院から市民病院へ。ウーン・・・職員の対応が良くなった？患者さんに優しくなった？主観的・客観的な想いは皆さんお持ちと思いますが、実は事務が一番変わりました。

（変わったのではなく、変わる途中かもしれないですが？）経営形態が変わったからといって診療そのものには影響ありません。

下関市が経営主体であった時代は、職員採用試験も職員課が行い、給与や手当も議会の承認を得て決定されていました。研修計画も、専門職については現場任せの状態でした。医療相談窓口も当時は、事務局内の職員が対応していました。病院職員の定数の関

係で、医療職の人員を増やすために、事務職員を減員し組織も1課に統合し管理職も削減していました。

現在では、職員採用も給与制度も理事会の承認を得て病院独自で行なえます。診療情報管理士等の採用もあり、より専門性を持った職員が育っています。まだまだ経営面では未熟ですが、病院の持つポテンシャルが最大限活かせる経営のプロが育つ土壌がやっとできるところです。今はまだ発展途上ですが、病院が一体感を持てるよう下支えをしていければと思っています。今後とも皆様のご支援をいただきますようお願いいたします。



事務部長 よしだ はつみ 吉田 初巳

人にやさしい病院を目指します。今後とも、よろしくお願いいたします。

ちんたお

青島市市立医院視察団が

来院されました！



下関市は1979年より中国の青島市と姉妹都市の関係にあります。その関係で当院と青島市市立医院は友好関係を結び、毎年交互に訪問しあっています。昨年は11月4日に趙^{ちやう}中医管理局^{ちやう}副局長と池^ち副院長兼心臓外科部長をはじめとする医師5名の計6名が当院を訪問されました。

歓迎セレモニーの後、当院の概要、下関市の医療に関する問題点と当院の目指す医療について説明しました。続いて、外科の江口医長が腹腔鏡を用いた直腸癌の切除術と直腸脱の手術を動画で供覧し解説しました。腸外科の医師から熱心な質問が出るなど関心の高さを感じましたが、英語が理解しにくかったのが少し残念でした。池副院長からも手術や電子カルテ、動画についてお褒めの言葉をいただきました。

続いて新館の緩和ケア病棟と透析センター、化学療法センターを見ていただきました。緩和ケア病棟では沢山の質問が出て会話がはずみましたが、牧野部長の流暢な英語による解説に帰るところ大でありました。

青島市は下関市の30～40倍の人口を有し、市立病院の規模も当院とは全く違います。青島市市立医院には毎日膨大な数の患者さんが訪れて治療を受けていますが、中国では医療保険体制も日本のように手厚くありません。多くの患者さんは親戚縁者の援助で医療費をまかなっているとのことでした。

私達は人口が減少中の下関市で、大きな公費負担に守られながら、少ない症例に丁寧な医療を施しているといえます。この全く異なる医療事情について、お互いに認識を新たにすることができたのではないのでしょうか。

青島市市立医院の医師からは今よりもっと深い交流を行いたいとの希望の表明がありました。青島市では外科や心臓外科の症例が沢山あるので、多くの症例を診て経験を積みたいと希望する日本の若い医師が来れば受け入れられるとのことでした。

交流会で毎回感じるのは言語の問題です。互いに中国語、日本語を全く理解できません。通訳を介しての会話では不自由で、結局直接の会話は片言の英語になるのですが、双方とも上手ではないので思いがなかなか通じません。中国語を勉強するか、互いに英語をもっと操れるようにしないとこの状況が続くそうです。

近年、日本と中国の政治的な関係は決して良好とは言えません。そういう中で自治体や病院や市民レベルで友好を深めることは重要だと思います。先方からもそのように受け取れる発言があり、思いは同じなのかもしれないと感じました。

＜副院長 ^{うえの やすたか} 上野 安孝＞



▲ ご来院時に正面玄関にて



▲ 当院の概要説明



▲ 緩和ケア病棟の見学

医療安全月間 (平成 28 年 11 月 20 日～ 12 月 22 日)

厚生労働省により「医療安全推進週間」が設けられており、当院ではその1週間を含む1ヶ月を「医療安全月間」とし、医療安全向上に取り組んでいます。取り組みのひとつに、職員を対象として医療安全に関する標語を募集したところ78作品の応募があり、投票により決定した最優秀賞の作品をご紹介します。

● 最優秀賞 ●

小さな はてな は
みんなの はてな
あなたの勇気がみんなを救う



当院で働く職員を紹介します。

もっと知りたいたい。

検査部

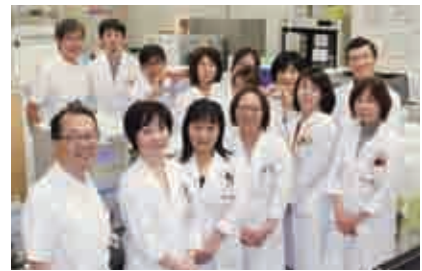


検査部技師長
かわもと ひろし
川元 博之

「検査技師」の主な仕事内容を教えてください。

病気を診断・治療するために、様々なデータが必要であり、これらの検査を医師の指示のもと行うのが、臨床検査技師で、国家資格（厚生労働大臣免許）を持った専門職です。

臨床検査には大きく分けて、ヒトそのものを調べる「生体検査」と体から取り出されたものを調べる「検体検査」の2つがあります。前者には、心電図、肺機能検査、脳波、超音波検査など、後者には、血液分析、尿検査、輸血検査、細菌検査、病理



検査などがあり、幅広い知識と専門性が要求されます。

「検査部」は、どのような職場ですか？

安田検査部長（病理診断科部長）のもと、30名の技師と2名の事務員で構成され、そのうち約8割が女性で華があります。しかし、仕事に関しては、皆職人気質を持って、各々の能力を遺憾なく発揮し、お互い補い合い仕事に活かしている、頼りになる面々です。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

まずは正しい値、結果を正確かつ迅速に出すこと。血液の分析は、mg（ミリグラム、1千分の1g）やpg（ピコグラム、1兆分の1g）まで、ごく微量の物質を検出しています。そのためには、機器の厳密な管理が

求められます。これらのことを精度管理というのですが、測定機器が正しい値を測定しているか、常に監視・調整しています。当院は、任意団体ではありますが、精度保証認定を取得しています。機器だけではなく、人の目で判定している検査や手作業で実施している検査もあります。常に正しい結果を提供するために、また新しい技術についていくためにも、日々の向上心が欠かせません。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることを教えてください。

本屋やホームセンターを回るのが好きです。日頃のヒントになることが多いものですから。

生理検査室が移転・リニューアルしました。

昨年末、生理検査室が本館2階へ移転、リニューアルオープンし、機能的で明るい雰囲気検査室になりました。生理検査は、身体に触れる機会の多い検査であるため、女性技師だけで構成されていますので、女性の方にも安心して受けていただけます。



認定看護師
だより
Vol.14



がん化学療法看護
認定看護師

うえの たえこ
上野 妙子

がん化学療法の進歩はめざましく、従来の抗がん剤、分子標的薬に続き、人が本来持つ免疫を活性化することでがんと闘う免疫チェックポイント阻害薬が登場しました。当院では最新のガイドラインに基づき、患者さまに安心して化学療法を受けていただけるよう、医師、看護師、薬剤師等の多職種がチームでサポートしています。

化学療法センターが新館に移転し1年が経ちました。社会生活を営みながら外来で化学療法を受けられる患者さまは、年々増加しています。私は昨年、認定看護師5年目の更新審査に合格いたしました。患者さまが副作用で苦しむことなく治療を継続できるよう今後も患者さまに寄り添った看護を実践していきたいと考えております。化学療法でお困りのことがありましたらご相談下さい。



地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 病診連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861



クレスト整形外科 院長 上田 章二 先生

下関市立市民病院の先生方、病診連携室並びに関係者の方々には平素より大変お世話になっております。また急患の受け入れも迅速に快く対応していただき、大変感謝しております。

当院は平成6年に整形外科の有床診療所として開業いたしました。当初は全身麻酔下の人工関節や種々の骨折などの手術もしていましたが、徐々に看護師不足となり、どうしても人手が回らなくなり、

平成25年に全麻下の手術をやめ、局所麻酔の手術のみとなっています。そのため市民病院整形外科の先生方には、検査も含め手術症例の紹介が増えて、とてもお世話になっております。最近整形外科の有床診療所も減りつつありますが当院ではまだ入院を続けており、理学療法士も3人おりますので、術後もうしばらくリハビリが必要で退院困難な患者さんや、手術適応がなく総合病院で入院困難な患者さんがおられましたら、紹介して頂ければ入院加療やリハビリを施行させていただきます。

以前から整形外科の開業医に受診する患者さんは高齢者の方が多いのですが、最近は複数の疾患を持つ方が増えているように思われます。このような状況で市民病院の整形外科の先生方のみならず、他科の先生方のお世話になることも多くなっておりますが今後ともよろしく願いいたします。

〒750-0061 下関市上新地町3丁目1-30 TEL：083-222-1600 <整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科>
月～土：9：00～12：00、14：30～18：00（理学療法は14：00～、木・土：午前のみ）

門脇歯科・形成外科医院 院長 門脇 哲郎 先生

下関市立市民病院の先生方、病診連携室など関係各部所の方々には平素大変お世話になっております。

当院は、昭和26年に父が宮田町に歯科診療所を開設し、昭和35年には3床の有床歯科診療所として入院治療をはじめました。平成4年に私が加わり、医科歯科併設の有床診療所として平成26年末まで全身麻酔手術を行ってまいりました。現在は外来診療のみ行っています。

湿疹・水虫などの一般的な皮膚科治療はもちろん、私は形成外科を専門としておりますので外傷（特に顔面）、熱傷の初期治療から母斑・粉瘤などの軟部腫瘍の切除、傷跡の修正などの手術を行っています。高齢化社会となり、まぶたが開きにくいと訴える眼瞼下垂の患者さんが多くなっています。またシワ・シミなどアンチエイジングにもとりくんでいます。

歯科部門は常勤医2人、非常勤医4人の体制をとり、一般歯科・口腔外科・矯正を行っています。微力ながら引きつづき地域医療に貢献する所存です。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

〒750-0002 下関市宮田町2丁目5-1 TEL：083-223-2131 <形成外科、皮膚科、美容外科、歯科、歯科口腔外科>
月～土：9：00～12：00、14：00～17：00（土：午前のみ、水：手術のため原則外来休診）



外来診療のご案内

2017年2月1日現在 (※)…非常勤医師

| 診療科 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------------------|------------|----------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------|
| 内科・消化器内科 | | 具嶋 正樹/濱田 広之 | 山口 敢 | 具嶋 正樹 | 山口 敢 | 濱田 広之 |
| 内科・呼吸器内科 | | | | | | 花香 哲也(※) |
| 内科・循環器内科 | | 金子 武生 | 金子 武生 | 安田 潮人 | 辛島 詠士 | 辛島 詠士/與田 俊介 |
| 禁煙外来(午後・予約制) | | | | 金子 武生 | | |
| 内科・腎臓内科 | | | 坂井 尚二 中村 亜輝子 | 吉水 秋子 | 坂井 尚二 午前:浦江 憲吾/午後:吉村 潤子(※) | 前田 大登(※) |
| 内科・血液内科 | | | 久保 安孝 | | 久保 安孝 | |
| 内科 リウマチ膠原病内科 | | 大田 俊一郎 柏戸 佑介(※) | | 大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後) | 中山 剛志(※) | 大田 俊一郎 |
| 糖尿病内分泌代謝内科(午前中) | | 江口 透 | 森崎 裕子(※) | ☆ | ☆ | 江口 透 |
| 甲状腺外来(午前中) | | ☆ | ☆ | 江口 透 | ☆ | ☆ |
| 内科 | | 原田 由紀子(午前) | | | | |
| 渡航外来(予約制) | | 原田 由紀子(午後) | | | | |
| 内科・胆膵外来 | | 五十嵐 久人 | | 五十嵐 久人 | | |
| 神経内科(午前中・予約制) | | | | 本田 真也(※) | | |
| 精神科 | | | | 中津 勇紀(※) | | |
| 消化管内視鏡 | | 山口 敢 | 具嶋 正樹/濱田 広之 | 山口 敢 | 具嶋 正樹/濱田 広之 | 具嶋 正樹 |
| 胃透視 | | | 具嶋 正樹 | 濱田 広之 | | 山口 敢 |
| 心臓血管外科 | | | 上野 安孝/木村 聡 | | 上野 安孝/栗栖 和宏 | 上野 安孝(予約のみ) |
| 外科 | 午前 | 牧野 一郎 宮竹 英志 | 石光 寿幸 中原 千尋 | 大谷 和広 宮竹 英志 | 江口 大樹 | 石光 寿幸 吉田 順一/大谷 和広 |
| | 午後 | 院長外来 (院外紹介) | 乳腺外来 石光 寿幸 | | ストーマ外来(第2第4) | 乳腺外来 ストーマ外来(新患)第2第4 石光 寿幸 |
| 呼吸器・感染症外来(呼吸器外科) | | 吉田 順一 | 吉田 順一 | 吉田 順一 | 吉田 順一 | 吉田 順一 |
| 呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科) | | | 井上 政昭 | | 井上 政昭/岩浪 崇嗣 | |
| 小児外科 | | 河野 淳(要相談) | | 河野 淳/九大派遣医師 | | |
| 脳神経外科 | | 中村 隆治/尾中 貞夫 | 中村 隆治/藤岡 寛 | 中村 隆治/尾中 貞夫 | | 中村 隆治/尾中 貞夫 藤岡 寛(午後) |
| 整形外科 | 再診 | 白澤 建藏/島田 英二郎 | 渡邊 哲也/有隅 晋吉 | 山下 彰久 | 原田 岳/橋川 和弘 | 藤井 陽生 |
| | 新患 | 橋川 和弘 | 島田 英二郎 | 白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 藤井 陽生 | 山下 彰久 有隅 晋吉 | 渡邊 哲也 喜多 正孝(※) |
| 診療科 | 一診(初診) | 吉弘 悟 | 金岡 源浩 | 吉弘 悟 | 金岡 源浩 | 吉弘 悟 |
| | 二診(予約のみ) | 金岡 源浩 | 吉弘 悟 | 金岡 源浩 | 吉弘 悟 | 金岡 源浩 |
| 眼科 | | 石村 良嗣 | 石村 良嗣(午前中) | 石村 良嗣 | 石村 良嗣(午前中) | 石村 良嗣 |
| 放射線診断科 | | | 箕田 俊文 | | | |
| 放射線治療科 | | 有賀 美佐子 | 有賀 美佐子 | 有賀 美佐子 | 有賀 美佐子(午前のみ) | 有賀 美佐子 |
| 小児科 | 午前 | 河野 祥二/鳴海 宏子 | 河原 典子(※) | 鳴海 宏子 | 河原 典子(※) | 東 良紘(※)/鳴海 宏子 |
| | 予約制 | アレルギー | 永田 良隆(再診) | 永田 良隆(新患) | 河野 祥二 | 永田 良隆(再診) |
| | 予約制 | 心身症 | | | 大賀 由紀(※) | |
| | 午後 | 健診・予防接種 | 河野 祥二/河原 典子(※) | | 河原 典子(※)/鳴海 宏子 | |
| 産婦人科 | 予約制 | アレルギー | | 河野 祥二/鳴海 宏子 | | 永田 良隆 河野 祥二 |
| | 慢性疾患 | | | | 大賀 由紀(※) | |
| | 心身症 | | | 綿野 友美(※) | | |
| 産婦人科 | 一診 | 前田 博敬 | 川崎 憲欣 | 前田 博敬 | 前田 博敬 | 川崎 憲欣 |
| 産婦人科 | 二診 | 川崎 憲欣(第2・第4のみ) | | 川崎 憲欣 | 大川 彦宏(※) | |
| 産婦人科 | 午後 | 母乳外来(予約制) | 母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3) | 母乳外来(予約制) | 母乳外来(予約制) | 母乳外来(予約制) |
| 疼痛外来 | ペインクリニック内科 | 藤原 義樹 | | 藤原 義樹 | | 藤原 義樹 |
| 皮膚科 | | 内田 寛 午後の外来は13~14時受付 | 内田 寛 | 内田 寛 午後の外来は13~14時受付 | 内田 寛 午後:手術 | 内田 寛 午後の外来は13~14時受付 |
| 耳鼻咽喉科 | | 平 俊明 伊藤 彩(※) | 平 俊明 齊藤 雄一 | 平 俊明 伊藤 彩(※) | 平 俊明 齊藤 雄一 | 平 俊明 齊藤 雄一 |
| 歯科・歯科口腔外科 | | 入学 陽一 坂口 修(※)第1・第3 平林 文香(※)第2・第4 | 入学 陽一 長畑 佐和子 | 入学 陽一 高橋 理(※)第3以外 笹栗 正明(※)第3のみ | 入学 陽一 長畑 佐和子 | 入学 陽一 宮本 郁也(※)第1・第3 吉賀 大午(※)第2・第4 |
| 緩和ケア外来 | | | | | | 牧野 一郎/午前中(予約制) |
| 救急科(午前・午後) | | 中原 千尋/奥村 幹夫 | 尾中 貞夫 | 中原 千尋/奥村 幹夫 | 中原 千尋/尾中 貞夫 | 中原 千尋/奥村 幹夫 |

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)

◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOZEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>

病診連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力お願いします。